



おもちゃ病院

特集

特技を生かして 地域貢献

おもちゃ病院伊都国 10年の取り組み

治ったおもちゃを手にした時の、うれしそうな子どもの笑顔。それを見るのが楽しみで、ドライバーやハンダごてを手に奮闘する人たちがいます。『おもちゃ病院伊都国』のドクター&ナース27人（※平成29年1月現在）は、壊れたおもちゃに無償で新しい命を吹き込むボランティアの職人集団。独自の取り組みを展開しながら、糸島市にさまざまな笑顔をもたらしています。昨年10月には、環境大臣表彰を受けました。





特技を生かして地域貢献

おもちゃ病院伊都国 10年の取り組み



1 設立期からおもちゃ病院を支える80歳の手塚さん。元美術科教諭のベテランドクター。2 「この接触が悪いんじゃない?」と「知恵」と「手」を出し合って修理の方針を決めるのも、ドクターたちの楽しみの一つ。3 ドライバーにクリップで取り付けた小型ライト。作業をスムーズに進めるため、各自工夫を凝らす。4 分解して出てきたメカや配線にくぎ付けになる子ども。さまざまな修理工程を経てよみがえる光景を見て、おもちゃへの愛着が深まる。ドクターも、子どもの期待を受けて作業に熱が入る。5 毎回15個以上の修理依頼があり、にぎやかな会場で作業が進む。

壊れたおもちゃに 新しい命を吹き込む

ほとんどのおもちゃが容易に手に入る今の時代。使い捨てにすることに抵抗が無く「壊れたらまた買えばいいや」という考え方も珍しくありません。

しかし、おもちゃ病院を訪れる人たちは、「お気に入りのラジコンカーで、もう一度遊びたい」「おしゃべりするぜんまい仕掛けのぬいぐるみ。捨てるのはもったいない」「あの時の思い出を、いつまでも大切にしたい」。そんな思いを抱いてドクター＆ナースに修理を依頼します。

依頼を受けるドクターたちの平均年齢は69歳。その多くは定年を迎え、第二の人生を歩む人々。元職は、エンジニア、公務員、船舶機関士、無線通信士、保育士などさまざまです。しかし、「何とか再び遊べるように」という思いは同じ。電気、機械、木工、裁縫など、一人ひとりの得意分野が結集し、「知恵」と「手」を出し合い、プライドを持ってお

もちやと向き合っています。

「最後まで生かす」 その仕組みを構築

平成19年、4人のメンバーでスタートした「おもちゃ病院伊都国」。毎月の定期開設や、各種イベントで出張開設を行い、これまで約3000個のおもちゃ修理を手掛けました。

修理によって全てが元通りに治るとは限りません。しかし、まだ命のあるおもちゃを最後まで生かしたいドクターたち。もし治らない場合は依頼者がそのおもちゃを寄附すれば、部品を取り外し、次のおもちゃの修理に活用します。また、おもちゃ修理の延長として、子どもたちが持ち寄ったおもちゃを交換するイベント「かえっこ」とのコラボレーションや、保育施設、福祉施設へのおもちゃの寄附の幹旋など、活動分野を広げてきました。

これらの約10年間の活動は、青少年の健全育成のみならず、環境面などでの社会貢献にも一役買っています。



さあ、本日も開院と同時に、大事なおもちゃを手に子どもたちが続々と来院しています。みんなのおもちゃの運命やいかに!? ドクターたちの奮闘ぶりとともに修理の様子を見てみましょう。



壊れたおもちゃが ドクターの力で よみがえる!!



コントローラーを操作しても反応しないラジコンカー。外観を検査して送信電波の状況を確認。異常がなければ分解し、電池、配線、回路基板などの状態をくまなくチェックします。

中を見てみよう

ケース ①



電気系統の問題かなあ



ラジコン修理の診断中

修理が
できろう!

ケース ②

5年以上も放置されていたアヒルちゃん。さびてねじ山すら分からない状態です。

あーでもない



アヒルちゃん修理の診断中

こーでもない



ドリルでねじを慎重に削ってアヒルちゃんを切開

痛いほど我慢してー

中もさびが進行して深刻な状態だなあ



ラジコン、ごあれちゃった...

来院

なおるといいなアヒルちゃん



ケース ①

おばあちゃんにもらった「ラジコンカー」

ケース ②

お風呂で遊ぶ「アヒルちゃん」

問診

動かなくなったのはいつですか



カルテ



症状などをカルテに入力するのは、ナースのお仕事

おもちゃのメーカー、動かなくなった時期、その原因、その後どのように管理していたかなど、細かい症状をナースが聞き取り調査。カルテとともにドクターに引き継ぎます。

コンピュータ制御箇所の故障

部品が手に入らない

修理ができない場合

寄附してもらったおもちゃは

修理用部品として再利用



▶ねじ、ランプ、タイヤ、スピーカーなど、まだまだ使える部品を取り出して、次のおもちゃの命の再生に利用されます

◀寄附分から部品(タイヤ)を回収



術後面談
(修理の結果の説明)

電池はこまめに替えて、大事に遊んでね



はいっ!!



治療完了の証し
特製シールを“ペタッ”

ケース②

なおった〜!



全快!

やった!
また遊べる〜!

退院

よーし、動いたぞ!

動作をチェック



故障の原因が分かったので!

その場で手術

ケース①



おじいちゃん
すごいなあ

眼鏡の上から拡大鏡を装着し、自前のハンダごてやドライバーを器用に使いこなすドクター。まずは、電池ケースの電極のさび落とし。検査の結果、リモコン動作に異常を発見。分解して送受信回路や、前進・後進・左右旋回メカや回路をチェックして部品を交換。動作確認で異常なし。修理完了!

ケース③

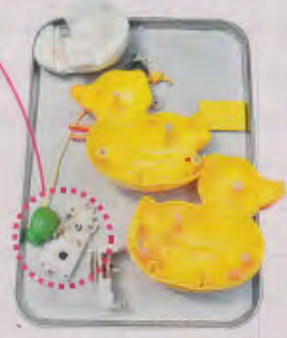
念入りの治療が必要なので!

入院して手術



さびた歯車の軸 歯車ユニット

ドクターのお宅にて、全ての部品が取り外されたアヒルちゃん。心臓部分である歯車の軸のさびがプラスチック部分にも影響していたため、やむなく切除。ドクターが個人的にストックしていた他のおもちゃの歯車から、ちょうど良い大きさのものを見つけて移植手術を行いました。



不要となったおもちゃから取り出して“我楽多箱(ガラタ箱)”にストックしていた各種歯車&ぜんまい。アヒルちゃんに合う物を探して利用



さびていたぜんまいは、一晩オイルに漬けることでピカピカに復活!

ありがたい気持ちで
【サンキュー募金】

♪ ありがとう! 修理代は原則無料ですが、依頼主の善意によって募金されることもしばしば。募金箱には仕掛けが施され、硬貨を入れると「ありがとう!」と感謝の言葉が流れます。

元通りに治らなくても

再び動かし思い出つなぐ

「テレビでおもちゃ病院の活動を知って持って来ました」。唐津市から訪れた女性の手には、92歳の祖父が孫にプレゼントした招き猫が。電池式で、左手で「おいでおいで」とかわいらしく手招きするのですが、触っているうちに動かなくなっていました。孫は成人したけど大切な思い出が詰まっているので、また動くようになりたい。そう話す依頼者の気持ちに添えるべく、ドクターは手探りで修理に挑戦。

2時間かけても軸が安定せず、完治には至りませんでした。が、再び動くようになった姿に、依頼者も「思い出がよみがえった。大切にします」と喜んでいました。

このように、依頼されるおもちゃを完全に修理できない場合も多々あります。しかし、動作原理を理解しながら原因を探り、再び動くよう試行錯誤する。それがおもちゃ病院の醍醐味であり、依頼主の喜びが次の原動力になっています。



◀また動くようになった招き猫。依頼主の笑顔に、ドクターもホッとひと安心





ユニークな取り組み
「おもちゃ箱」
「かえっこ×
おもちゃ病院」

不要なおもちゃに
再び活躍の場を

使わなくなったおもちゃを引
 き取って点検・整備し、保育施
 設や福祉施設などの子どもたち
 に寄附する「おもちゃ箱」事業。
 約4年前、子育て支援セン
 ターですくすくで、おもちゃ病院
 を開設している際、「子どもが遊
 んだものだけど、次の誰かに
 使ってもらえれば」と段ボール
 いっぱいのおもちゃが届けられ

たことを機に、「もったいないか
 ら、有効に活用しよう」と始めら
 れました。

「おもちゃの寄附受付箱」は、お
 もちゃ病院開設時に設置するほ
 か、「すくすく」と、「こらぼ糸島」
 内にも常設。受け入れるおもちゃ
 は無制限で、修理できないもの
 は、分解してパーツごとに整理。
 他のおもちゃの取り替え用部品
 として再利用しています。

集まったおもちゃは、施設へ
 の寄附以外にも、子ども同士が
 欲しいおもちゃと交換し合うイ
 ベント「かえっこ」でも大活躍。

この「かえっこ」では、使わな
 くなったおもちゃを持ち寄り、状
 態に応じてポイントを付与。た
 まったポイントで希望のおも
 ちゃと交換する仕

組みです。おもちゃ
 病院と「かえっこ」
 イベントを共同開
 催することで、他
 にユニークで有
 意義な取り組みに
 なっています。



「かえっこ×おもちゃ病院」。
 集まったおもちゃは、
 次の持ち主に大切に使われる



小さな種を育てた10年の活動

理念は後からついてきた



おもちゃ病院伊都国
 代表・波多江 保彦さん

10年前、おもちゃ病院を始め
 たきっかけ。それは「生き返った
 おもちゃを手にしたときの子ど
 もたちの笑顔がうれしい」とい
 う単純なものでした。電機メー
 カーの技術者だった現役時代
 は、こてこての仕事人間だった
 ので、「退職後は特技を生かし
 て、ふるさと糸島のために貢献で
 きれば」との思いもありました。
 仲間と4人で手探りでスター
 トしたころは、「3年もつだろう
 か」と心配したこともありまし
 た。気が付けば充実した10年が

過ぎていました。

この活動に対して、「^{ぜい}銭にもな
 らんとい、なしな？」という人が
 いる一方で、「よかことしござ
 る」と言う人も。

この「よかこと」とはどんなこ
 とか。それは活動によって

①使い捨ての時代に、物を大切
 にする優しい心を育む子育
 て支援(青少年の健全育成)
 効果

②使い捨てせず、修理して繰り
 返し使う環境意識の啓発効果
 ③児童福祉施設のおもちゃ修



修理体験中の児童とドクター(引津小)



児童・生徒が持ち寄った壊れたおもちゃを、自分の手で修理することで、楽しみながら物を大切にすることを育む体験学習。平成20年に二丈中学校でスタートし、これまで一貴山小学

ユニークな取り組み 修理体験学習 の支援

物を大事にする心、
科学への興味を養う

真剣におもちゃのヘリコプター修理に
挑戦中(一貴山小)



校や引津小学校の4年生を対象に実施してきました。体験学習では、おもちゃ病院のドクターは、児童からの相談に乗って助言や手助けはするものの、基本的には子どもたちが自分で考え工夫して作業に取り組めます。「自分の手でおもちゃがよみがえった」。その喜びが達成感と自信につながり、これを機に「捨てる前に治してやろう」と家にある他のおもちゃや日用品の修理に挑戦する子どもも。理科や科学技術に対する興味や関心も芽生えているようです。

受賞歴など

- 平成22年度 福岡県市民教育賞(地域社会教育賞)
- 平成24年度 福岡県ふくおか共助社会づくり表彰(地域貢献活動部門賞)
糸島市元気高齢者表彰(3人)
- 平成25年度 朝日新聞社 朝日のびのび教育賞
福岡県「70歳現役社会づくり」施策のモデルに
- 平成26年度 糸島市 社会福祉大会表彰(優秀賞)
福岡県 ふくおか地域づくり活動賞
日立グループ「親切会」善行賞
糸島市元気高齢者表彰(4人)
- 平成28年度 環境大臣表彰(循環型社会形成推進功労者)



環境大臣表彰を祝して記念撮影(おそろいのエプロンは、市内ボランティア団体「火よう会」との共同製作です)

理の引き受けや寄附活動、高齢者の生きがいづくりなどの福祉支援効果が生まれていることです。いつのころからか、この「よかこと3本柱」を私たちの理念として掲げ、それぞれを並行して高める活動を展開してきました。これらの活動は、いずれも「小さな種を見つけて、丁寧に育てること」の繰り返しです。その中で、「糸島市市民提案型まちづくり事業」に採択されるなど、いろいろな人から助言や助成をいただいたことが、大きな糧となって成長することができたと感じています。平成22年以降の数々の受賞は、社会的な評価の証しとして、会員たちの自信と誇りとなっており、毎月の継続的、精力的な活動につながっています。今後とも人のつながりを大切に、決して無理をせず、自分たちができることを考えて楽しく活動していきたいと思っています。



特技を生かして地域貢献

おもちゃ病院伊都国 10年の取り組み



最善の策を協議しながらおもちゃ修理に没頭するドクター



機械いじりなどが大好きで集まったドクターたち。開院時には、毎回16人以上のメンバーが出席しています。

おもちゃの中を真剣にのぞき込みながら、「オルゴールのことは〇〇さんに」「電気なら〇〇さんに」と、それぞれ得意な人にアドバイスを受け、「ああしてみたら」「こうしてみたら」と「知恵」と「手」を出し合うことが、おもちゃ

病院の真骨頂。メンバーは、特技を生かして人の役に立っていることがうれしくて、難しい修理であるほどやる気をみなぎらせます。

シニア世代の活躍による「生きがいづくり」と、ボランティアを核とした「市民協働」がまちづくりの鍵を握る近年。「おもちゃ病院伊都国」の活動は、糸島市を元気にする取り組みとして、今後とも目が離せません。



特技を生かして
生きがいづくり

“仲間とわいわい楽しく”
それが元気の秘訣



おもちゃ病院伊都国



定期開設

- 毎月第4土曜日 受付時間 10時～14時
糸島市子育て支援センターすくすく(前原東2-1-25)
 - 奇数月第2土曜日 受付時間 10時～14時
波多江公民館(池田216-1)
- ※祝日の場合は変更になることがあります。

出張開設

- 子どもフェスタなどのイベントで年間約10回

問い合わせなど

- 修理予約受け付けなど ☎080(8390)8154(おもちゃ病院専用電話)
※電子ゲーム機類、銃器類、骨董品など受け付けできないものもあります。
- ホームページ
http://www.geocities.jp/omotya_itokoku/
- おもちゃ病院伊都国
- おもちゃ病院伊都国(代表:波多江)
☎090(9139)7186



もう一つのRで支える 環境の3R

3R supported by one more R(Repair)



もう一つのR: Repair(修理する)
環境の3R: Reduce(ごみ抑制)・Reuse(再使用)・
Recycle(再資源化)



特集記事に関する問い合わせ

糸島市シティセールス課 ☎(332)2079